

# 第38回建設業経理事務士検定試験

## 4級試験問題

### 注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。  
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) A銀行から¥350,000を借り入れ、利息¥1,500を差し引かれた手取額¥348,500を当座預金に預け入れた。
- (2) 工事が完成したので発注者であるB社へ引き渡し、その代金¥700,000を同社振出しの小切手で受け取った。
- (3) 本社事務所の電話代¥15,000が当座預金から引き落とされた。
- (4) 業務用の応接セット一式¥300,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
- (5) 本社で使用する電卓その他の文具類を買い入れ、その代金¥8,000を現金で支払った。
- (6) 現場作業員の賃金¥250,000を現金で支払った。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 貸付金	E 備品
F 土地	G 資本金	H 完成工事高	J 受取利息	K 事務用消耗品費
L 借入金	M 通信費	N 支払利息	Q 労務費	R 経費

〔第2問〕 次の設問に答えなさい。（20点）

問1 次の文の  の中に入る用語として最も適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～セ）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 残高試算表においては、資産と  1  に属する諸勘定の残高がその  2  に記入される。
- (2) 貸借対照表は、企業の  3  の  4  を表示し、損益計算書は、企業の  5  の  6  を表示している。
- (3) 借入金は  7  に属し、受取利息は  8  に属する。

〈用語群〉

ア 借方	イ 貸方	ウ 一定期間	エ 一定時点	オ 複式簿記
カ 負債	キ 資本（純資産）	ク 費用	コ 収益	サ 工事原価
シ 財政状態	ス 経営成績	セ 単式簿記		

問2 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。期中に資本の追加元入れ及び引出しはなかったものとする。なお、当期純損失の場合は△（マイナス）の符号をつけること。

（単位：円）

年度	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または 当期純損失（△）
	資 産	負 債	資 本 （純資産）	資 産	負 債	資 本 （純資産）			
X	78,000	45,000	（ア）	（イ）	48,000	（ウ）	95,000	82,000	（エ）
Y	（オ）	32,000	（カ）	70,000	35,000	（キ）	80,000	（ク）	7,000
Z	82,000	（ケ）	32,000	（コ）	38,000	（サ）	（シ）	60,000	△4,000

〔第3問〕 埼玉工務店に関する次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（平成×6年11月30日）を完成しなさい。（30点）

<資料1>

合計試算表

平成×6年11月15日

（単位：円）

借方	勘定科目	貸方
820,000	現金	333,000
750,000	当座預金	297,000
250,000	備品	
850,000	土地	
	借入金	600,000
	資本金	1,000,000
	完成工事高	1,390,000
250,000	材料費	
220,000	労務費	
180,000	外注費	
55,000	経費	
150,000	給料	
8,000	通信費	
17,000	旅費交通費	
68,000	支払家賃	
2,000	支払利息	
3,620,000		3,620,000

<資料2> 平成×6年11月16日から30日までの取引

- 16日 手許現金を補充するため、小切手¥120,000を振り出した。
- 18日 本社事務所の家賃¥50,000を現金で支払った。
- 20日 材料を購入して現場に搬入し、その代金¥180,000を支払うため、小切手を振り出した。
- 22日 工事現場の事務所家賃¥28,000を現金で支払った。
- 25日 本社事務員の給料¥120,000を現金で支払った。
- 28日 借入金¥200,000及びそれに対する利息¥1,000を支払うため小切手を振り出した。
- 30日 工事が完成したので発注者へ引き渡し、その代金¥660,000が当座預金に振り込まれた。

〔第4問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。（26点）

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。